

株主の皆様へ



代表取締役社長

黒田 浩史

■ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第75期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

■当期の概要

当連結会計年度におけるわが国の経済状況は、緩やかな回復基調を継続してきましたが、中国経済の減速に加え不安定な国際政治情勢に伴う先行き不透明感から製造業を中心に設備投資を先送りする動きが見られました。

こうした状況下、当社グループにおいては上半期まで高水準な受注が継続していましたが、下半期以降、一部需要業界において景気減速の影響を受けて発注を調整する動きが顕在化したことから、通期受注高は18,123百万円（前年同期比860百万円、4.5%減）となりました。一方、売上高は受注残の消化に努めた結果17,754百万円（前年同期比1,637百万円、10.2%増）と増収となりました。

利益面に関しては、増収や収益改善活動の効果で単体業績が大幅増益となったことに加え、子会社の業績が改善したことにより、営業利益は1,277百万円（前年同期比755百万円、144.8%増）、経常利益は1,230百万円（前年同期比734百万円、147.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益871百万円（前年同期比619百万円、245.1%増）と大幅に拡大する結果となりました。

この業績は、昨年策定した中期経営計画の2018年度目標を上回り、空気圧機器事業分離後の2006年度以降の単体業績として最高の売上高と経常利益となりました。また、全セグメントが利益貢献を果たし、特定の事業に依存していた収益構造から脱却しました。

期末配当につきましては、総合的に勘案した結果、1株当たり25円とさせていただきます。

■来期の見通し

2018年度後半からの受注減速の影響が2019年度業績に影響を与えると見込まれることに加え、今後は米中貿易摩擦など不安定な国際政治経済情勢に伴い世界的な景気後退のリスクが強まるものと予想されます。

このような状況下、当社グループとしてはコスト削減や生産性の向上に努め、次期の連結業績といたしましては、売上高16,900百万円、営業利益550百万円、経常利益500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益300百万円を見込んでおります。

次期の年間配当につきましては、収益状況、経営環境を勘案し、1株当たり15円を予定しております。株主の皆様には何卒ご理解と変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。



■ 駆動システム

当セグメントでは、上半期まで高水準な受注が継続していましたが、下半期以降、半導体業界等からの発注調整が顕在化し、受注高は8,368百万円（前年同期比2,063百万円、19.8%減）となりました。売上高は豊富な受注残解消に努めた結果、8,255百万円（前年同期比683百万円、9.0%増）となり、営業利益は896百万円（前年同期比157百万円、21.4%増）と増益となりました。

売上高 **8,255** 百万円

■ 金型システム

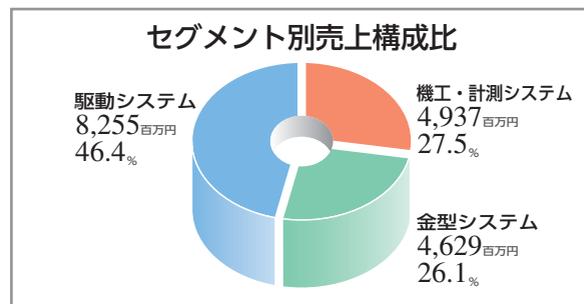
当セグメントでは、年度後半の減速はあったものの、通期では大型プロジェクトの立ち上がり等が寄与して堅調を維持し、受注高は4,623百万円（前年同期比615百万円、15.4%増）、売上高は4,629百万円（前年同期比500百万円、12.1%増）の結果となりました。利益面でも営業利益168百万円（前年同期は営業損失189百万円）と大きく改善しました。

売上高 **4,629** 百万円

■ 機工・計測システム

当セグメントでは、受注が好調に推移したことに加え、前第3四半期連結会計期間より持分法適用会社から連結子会社となった㈱ゲーシングの受注が加わったことにより、受注高は5,199百万円（前年同期比511百万円、10.9%増）となりました。売上高は要素機器とシステム商品ともに売上が増加したこと及び㈱ゲーシングの売上が加わったこと等により、4,937百万円（前年同期比379百万円、8.3%増）となり、利益面でも営業利益243百万円（前年同期比228百万円増）と大幅な増益結果となりました。

売上高 **4,937** 百万円



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

■ 長野工場 大型プレス機搬入

現在世界中で車の電動化が加速しています。金型事業部ではこの動きに対応すべく、中期計画に則りEV・HEV用モーターコア金型製作およびコア量産の能力増強を図っています。その一環としてロングベッド仕様の高速精密プレス機2台を本年度中に長野工場へ導入致します。1台目のプレス機が6月に搬入されました。これらの大型プレス機の導入により、今後進むことが予測される金型の大型化・多列化や材料の薄板化に対応することに加え、お客様から高い評価を頂いているGlue FASTEC®（接着積層技術）を使用したモーターコアを効率良く生産できる体制を整えます。当社では車の電動化をサポートすることにより、低炭素社会の実現に貢献してまいります。



ロングベッド高速精密プレス機

■ 加工・計測ソリューションルームの開設

2019年1月、富津工場の一角に「加工・計測ソリューションルーム」（愛称「MMラボ」）がオープンしました。当社の研削盤5台、ポリシングマシン、計測システムSF-640M、各種ハイドロリックツール、評価測定用装置等を設置し、お客様との打ち合わせコーナーも備えた空間が完成しました。

今後この施設を活用して、各種ソリューションの実演やテスト加工を行い、ソリューションの提案・販売促進と顧客満足度の向上を図ります。また機械の操作やメンテナンスに関するトレーニングも実施します。さらに、実証データの取得と各種ノウハウの蓄積により新製品・新ソリューションの開発にフィードバックしていく計画です。

機工・計測システム事業部のビジョンである「精密な計測と加工の総合ソリューションプロバイダー」を実現するために、この「MMラボ」から付加価値の高いソリューションが生まれることにご期待下さい。



加工・計測ソリューションルーム（「MMラボ」）

■ かずさアカデミア工場増築着手

2019年2月に、かずさアカデミア工場増築工事の地鎮祭が執り行われました。この増築工事は、中期経営計画2020の事業戦略の一環として実行するものです。スペース拡張により生産能力を増強するとともに、工法改革や自動化にも取り組み、生産性の大幅な向上を目指します。

この増築工事は本年7月に完了する予定です。当社は今後の市場の成長に対応できるよう着々と体制を整えています。



増築工事地鎮祭の様子



現在建設中の増築建屋

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	2018年3月31日現在	2019年3月31日現在
資産の部		
流 動 資 産	9,553	10,118
固 定 資 産	9,821	9,791
有 形 固 定 資 産	5,744	6,228
無 形 固 定 資 産	1,276	1,146
投 資 そ の 他 の 資 産	2,800	2,416
資 産 合 計	19,375	19,909
負債の部		
流 動 負 債	6,582	6,687
固 定 負 債	4,094	4,178
負 債 合 計	10,677	10,865
純資産の部		
株 主 資 本	6,269	7,114
資 本 金	1,875	1,883
資 本 剰 余 金	1,451	1,485
利 益 剰 余 金	2,952	3,754
自 己 株 式	△9	△9
その他の包括利益累計額	2,266	1,768
その他有価証券評価差額金	986	632
土 地 再 評 価 差 額 金	814	814
為 替 換 算 調 整 勘 定	405	317
退職給付に係る調整累計額	59	4
非支配株主持分	161	160
純 資 産 合 計	8,697	9,043
負 債 ・ 純 資 産 合 計	19,375	19,909

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	2017年4月1日～ 2018年3月31日	2018年4月1日～ 2019年3月31日
売 上 高	16,117	17,754
売 上 原 価	11,993	12,642
売 上 総 利 益	4,123	5,112
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,601	3,834
営 業 利 益	522	1,277
営 業 外 収 益	226	193
営 業 外 費 用	251	240
経 常 利 益	496	1,230
特 別 利 益	218	37
特 別 損 失	212	37
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	502	1,230
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	263	398
法 人 税 等 調 整 額	11	△48
当 期 純 利 益	227	879
非支配株主に帰属する当期純利益	△25	7
親会社株主に帰属する当期純利益	252	871

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	2017年4月1日～ 2018年3月31日	2018年4月1日～ 2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	556	1,417
投資活動によるキャッシュ・フロー	△362	△921
財務活動によるキャッシュ・フロー	375	△376
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△24
現金及び現金同等物の増減額	590	95
現金及び現金同等物の期首残高	1,936	2,527
現金及び現金同等物の期末残高	2,527	2,623

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2018年3月31日現在	2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	7,983	8,570
固定資産	10,372	10,410
有形固定資産	4,980	5,294
無形固定資産	232	209
投資その他の資産	5,160	4,906
資産合計	18,356	18,980
負債の部		
流動負債	6,164	6,267
固定負債	3,865	3,920
負債合計	10,029	10,187
純資産の部		
株主資本	6,525	7,346
資本金	1,875	1,883
資本剰余金	1,451	1,459
利益剰余金	3,207	4,011
自己株式	△8	△8
評価・換算差額等	1,801	1,446
その他有価証券評価差額金	986	632
土地再評価差額金	814	814
純資産合計	8,326	8,792
負債・純資産合計	18,356	18,980

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2017年4月1日～ 2018年3月31日	2018年4月1日～ 2019年3月31日
売上高	13,639	15,563
売上原価	10,481	11,574
売上総利益	3,157	3,988
販売費及び一般管理費	2,603	2,791
営業利益	554	1,196
営業外収益	223	217
営業外費用	201	204
経常利益	576	1,210
特別利益	154	37
特別損失	91	31
税引前当期純利益	639	1,216
法人税、住民税及び事業税	217	359
法人税等調整額	△18	△17
当期純利益	439	873

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

会社の概要

(2019年3月31日現在)

商号 黒田精工株式会社
本店 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
創業 1925年(大正14年)
資本金 18億8千3百万円
従業員数 421名

連結対象会社の状況 (2019年3月31日現在)

連結子会社	持分法適用関連会社
クロダイインターナショナル株式会社 クダプラジジョンインダストリーズ(M) (マレーシア) 平湖黒田精工有限公司 (中国) 永昇電子株式会社 韓国黒田精工株式会社 KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国) Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ) KURODA JENA TEC, INC. (米国) 平湖黒田捷納泰克商贸有限公司 (中国) 株式会社ゲージング	日本金型産業株式会社

当社グループの主要な事業 (2019年3月31日現在)

セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステータジ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機工・計測システム	保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、電子機器、コンプレッサ

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
定時株主総会 毎年6月下旬 三井住友信託銀行株式会社
基準日 毎年3月31日 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
連絡先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式に関する手続きについて

○証券会社等の口座に登録された株式	お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	支払期間経過後の配当金に関するご照会	株式事務に関する一般的なお問合せ	TEL. 0120-782-031 (フリーダイヤル)
上記以外のお手続き、ご照会等		口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	
○特別口座に登録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。			
お問合せ先		0120-782-031 (フリーダイヤル)	
[手続き書類のご請求方法] ・インターネットによるダウンロード https://www.smb.jp/personal/agency/index.html			

黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
TEL / 044-555-3800 (代表) FAX / 044-555-3524
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>

